

ハシビロガモ **Shoveller**

今月も引き続き大いにくちばしにこだわります。今月の登場は、誰が見ても一目瞭然、しかも英名も和名も見事に一致しています。

それは、ハシビロガモ (**Shoveller**) です。漢字を当てると「嘴広鴨」となり、英名の“**Shoveller**”とは、“シャベルの形をしたもの”または“シャベルを使うもの”といった意味で、くちばしをシャベルと見立て、そのシャベルで水中の餌をかき集めます。

採餌方法はじつにうまく、このシャベルを最大限に活用しているのです。まず、このシャベルで泥ごとバクッと口に入れ、よく発達した櫛状の歯で、ヒゲクジラのようにこして、水生昆虫や小型の甲殻類の幼虫を、実に上手に採食するのです。

カモ類のくちばしを真上から見る機会は減多にありませんが、ハシビロガモのくちばしを真上から見ると、基部から放射状に先端に向かって広がっており、最も広いところでは基部の約2倍もあり、頭の幅よりもやや広いくらいあります。

また、横から口を開いたところを見ると、まさに小型ヒゲクジラで、ろ過用の櫛状の歯がよく見えます。

アメリカでは、このハシビロガモにいろいろなニックネームがあります。そのまま並べますが、いずれもうまくくちばしの特徴をとらえています。

- | | | |
|--------------------|---|------------|
| Spoony | － | スプーンちゃん |
| Spoon-bill | － | スプーンはし (嘴) |
| Broad-bill | － | ハシビロ (嘴広) |
| Shovel-bill | － | シャベルはし (嘴) |

ハシビロガモにご対面の節には、こんなことを頭に描きながら観察すれば、バードウォッチングの楽しみも、より一層大きくなるでしょう。

大宮のハクトウワシ